

【概 要】

微生物取り扱いの基本的操作を理解し、細菌の培養、同定、薬剤耐性ならびに感染に対する重要な生体内防御因子である抗体や補体に関する実験を行う。本実習は、1) 細菌の培養、観察などの取り扱い方、2) 薬剤耐性の伝達と検出、3) 血清診断法の原理と実際、4) 滅菌と消毒の意義、を実験によって修得することを目的とする。

また、生化学関連の講義で学んだ知識を基に、生体成分の定性反応、定量的解析を行なう。特に生命に対し基本的な役割を持つ糖質、タンパク質、核酸等の各成分に対する知識と理解を深めるとともに、近年急速に進歩している遺伝子工学の基礎実験を行い、遺伝子関連実験の基本的手法を修得することを目的とする。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による